

沖縄戦ゆかいの地を見てきました!

不屈

福岡県版
NO.288

2023年1月15日
治安維持法国賠同盟福岡県本部
発行責任者 上田実
〒810-0041 福岡市中
央区大名 2-2-51
第一吉田ビル403号室
Tel 092-713-0144
Fax 724-6240

皆さん、お変わりありませんか。そして新年おめでとございます。今年が皆様にとつても、同盟にとつても飛躍の年になればと思います。

治安維持法国賠同盟が結成されたのが1968年、福岡県同盟は先月、第28回目の総会を開催しました。九州・沖縄ブロック交流会は、沖縄で11月19〜20日開催されました。福岡県からは上田、他に、小田憲郎中央本部副会長・熊本県本部会長、田中幹夫中央本部事務局長、宮崎県から女性2名、さらに沖縄県から40数名の参加でした。

治安維持法国賠同盟福岡県本部は、どんなに困難があつても、全国の仲間と連帯し、弱点に対する課題に向き合いつつも断固としてやり抜くという気概を見せることができました。

九州に住みつつ、話には聞いていたけれども、実際にこの眼で見た沖縄戦のすごさ、おぞましさは、あらためて戦争に対する怒りと平和の大切さを痛感する旅になりました。今後とも平和と民主主義と人権の旅を企画していきますので、どうかよろしくお願いいたします。

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さぬために
- 一 国は、治安維持法が人道に反する悪法であったと認めること。
- 二 国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと。
- 三 国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること。

【私たちの運動の基本】

戦争と貧困と格差を許さない国土を!

二〇二二年三月期に一億円超の報酬を得た上場企業の役員が、少なくとも二八五社の計六五六人に上り、過去最多になったと、新聞報道がありました(西日本新聞二〇二二年七月十五日付)。

一方で、時給最低賃金は、なかなか上がりません。貧困と格差に目をつむり、安定を叫ぶ自公政権のまやかしに、多くの国民が気付き始めています。この動きをさらに大きなものにしていかなくてはいけません

軍備拡大にはすぐ予算がつくの、子育て、教育、生活についてはなかなか予算がつかえません。この国の政府を変えていく以外に方法はありません。

再び戦争と暗黒社会を許すな。治安維持法国賠同盟は、さらに大きく成長していく必要があるのではないのでしょうか。寒さが厳しさを増しています。お体を大切にしてください。

旧海軍司令部壕は語る！

那覇市の南部、豊見城（とみぐすく）市に旧海軍司令部壕があります。現在は、悲惨な戦争をなくし、恒久平和を祈念する戦跡公園として、整備されています。九州にお住まいの人はむろん、日本人なら一度は見ておかないといけない施設という事で、中高生の修学旅行先候補地の一つとなっています。

昭和19年10月10日に、アメリカ軍の飛行機のべ1000余機による大空襲を受け、那覇市の90%が焼野原になったこともあり、海軍は、周辺の壕を拡張し、そこに海軍の司令部をおき、米軍と戦いました。しかし、米軍は、のべ54万の兵力と約1500隻の艦艇で沖縄を攻め、圧倒的な装備と兵力の差で、沖縄の日本軍は、昭和20年6月、敗北しました。

戦争の悲惨さと平和の尊さを、壕の人力によるつるはしの跡で身にしみ込ませることが大切です。ロシアだ、ウクライナだ、じゃないのだ。人の命の重さを考えないといけない。よお、そうだろう、プーチンのおっさんよ。

習近平とプーチンとのオンラインの会議が開かれたとのことで、そこで習近平は、プーチンに武力以外の方法を捨てていないことを評価すること。しっかりとしてくれよ。

統一教会の欺瞞を許すな！

祖先が悪魔に取りつかれているとか、合同結婚式など、統一教会の欺瞞は反社会的な性格を帯びています。共産主義に反対するなど、国民の利益に反しており、徹底的に解明する必要があります。格差と貧困という現代社会の矛盾を隠蔽し、国民を絶望の底なし沼に陥れ、正常な判断を奪う組織は、解散しかないのではないのでしょうか。その場合、国による差し押さえは不可欠です。少しでも被害者を救済する返金が充実すると思います。



福岡大学名誉教授 石村善治先生と学ぶ近現代史学習会は、講師の都合とコロナ蔓延防止などの理由で、しばらく休講になります。ご了承ください。問い合わせ等は上田（090-3414-4949）までお願いします。

先達の勇氣に続こう！

映画「わが青春尽きるともー伊藤千代子の生涯」は、もうご覧になったでしょうか。大正から昭和にかけて、伊藤千代子さんだけでなく、飯島喜美さん、小林多喜二、高島満兎さん、田中サガヨさん、田口ツギさんなど、多くの活動家等が弾圧され、獄死や病死を余儀なくされました。

ひるがえって、岸田内閣は、軍備拡張を一段とすすめ、原発は新規も含めて、推進全開に舵を切りました。なんら国会で検討することもなく、コソコソと決めてしまふのは全くもって違法です。

タモリが「新しい戦前」と表現したことは卓見です。いまこそ声をあげ、運動を大きく広げていく必要があるのではないのでしょうか。

飯島喜美さんはどんな女性か。コンパクトに「闘争・死」と刻み、野蛮な拷問にも屈せず、信念を誇り高くつらぬき、24歳で獄

死した日本共産党員です。

1911(明治44)年、千葉県旭市の、ちようちん職人の家に13人きようだいの長女として生まれ、小学卒業後、すぐに女中奉公に出て、15歳で、『女工哀史』の舞台となった東京モスリン紡織亀戸工場に入りました。

工場は、2交代12時間の過酷な労働で、低賃金、強制的な天引き貯金、読む本も制限され、手紙も開封されるという監獄のような寄宿舎生活でした。が、ひそかに開かれていた科学的社会主義の研究会に参加。28(昭和3)年の賃上げ要求ストライキでは、16歳で500人の女工たちのサブリーダーを務め、会社側に要求を認めさせました。

その後、昭和4年の4・16弾圧で喜美も、検束されますが、それにも屈せず、日本共産青年同盟(共青)に加盟、5月に日本共産党入党。翌30年には労働組合の国際組織プロフィンテルン第5回大会に、日本の女性として初めて参加しています。

帰国後、昭和8年、スパイの手引きで逮捕され、獄中で結核になり、まともな治療もされない中でも、信念を貫き、昭和10年12月、24歳の若さで亡くなっています。

高島満兎さんは、1909(明治42)年、福岡県三井郡合川村(現久留米市)で、造り酒屋の二女に生まれ、福岡県立久留米高等女学校(現福岡県立明善高等学校)を経て、1926(昭和元)年、日本女子大学に入学。労働農民党の活動に参加していた長兄の影響で、在学中の1929年頃から学生社会科学連合会(学連)目白班の運動に参加し、卒業前に日本共産青年同盟(共青)に加盟。卒業後、機関紙『無産青年』編集局で働くなどしている。就寝中に特高に急襲され、二階から飛び降りて、大怪我をして、下半身不随となり、闘病の末、なくなっています。

統一選挙がまじかです。先達の勇氣に続こう！

鬱屈感を吹き飛ばせ!

博多駅で女性が殺害された
り、母親が中学生の子供を殺し
たり、逆に中学生の子供が母親
を殺したり、そしてウクライナ
で連日、ロケット砲で人が住ん
でいるマンションが攻撃される
...。

憂鬱になるようなニュースばかり目につき、気が滅入りがちですが、歴史的な視点を常に持ち続けることが大切と考えます。そして今が厳しくても配達集金、活動など、いまでできることをきちんとこなすことが、明るい希望に満ちた未来を引き寄せて来るのだと信じましょう。

運動は一直線には結果に結びつきません。時には逆流もあり、らせん型に進むことがよく言われています。気持ちを持ち切らないことが必要です。時にはほっとするようなことも、見つけながら頑張りましょう。

ともかく選挙を通じてしか世の中は変わってゆかない。議席をめぐる、支配階級と被支配階級がしのぎを削る。一人ひとりが説得と納得を通して、一つの選択をする。議論は、両者が自分の意見を主張するだけでなく、相手の話をお互いよく聞き、何が正しいかを両者で探り合う作業のようなものではないでしょうか。

治安維持法同盟は、署名活動に取り組んでいます。署名をもらう時、そういう議論がたくさん起きると思います。苦労が多いかもしれませんが、みんなです。頑張ってください。署名は、毎年行っています。1回書けばいいというのではなく、毎年集めるようにしています。コロナ禍で、大変ですが、気をつけて歴史を前に進めていきましょう。

歴史を前に進めるとは、人権・民主・平和を前に進めるといことです。その先には、社会主義、共産主義があるのだと思います。労働時間の短縮、諸個人の能力が遺憾なく発揮される社会。あるべき理想をめざして力を合わせましょう。

会員は年度初めに、募金をよろしくお願いいたします

同盟は、慢性的に、財政がひっ迫しています。会員拡大、署名の推進、「治安維持法と現代」(年二回春、秋)の普及、DVD「種まく人々」、治安維持法犠牲者の発掘、顕彰などがあります。年度は4月始めです。

今回は、中央「不屈」11月号、12月号、1月号、名刺広告西日本版、「不屈」福岡県版1月号、未納の方に会費請求のご案内、振込用紙を入れていきます。振込先は帯封にも記載しています。

統一地方選挙がまじかです。軍拡に反対して、平和の準備を。来週強い寒波が来るという予報。しかしその先には春がやってきます。一緒に世の中を変えていきましょう。皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げます(文責 上田 実)。